

宮本たかし 県政 NEWS

のしく しこく っかりと

宮本 たかし 事務所

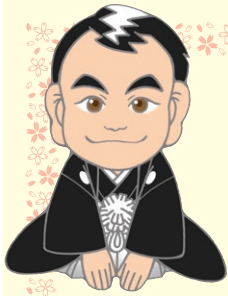
〒915-0876 越前市白崎町73-1-3 3F
電話
ファックス **0778-22-6633**

2013新年号

Vol.12



宮本たかしからのご挨拶



新年明けましておめでとうございます。
皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えの事と、心より
お喜び申し上げます。旧年中は浪人生である私の活動に対し
ましては温かい御支援を賜り、心より感謝申し上げます。
年末には無依議院議員の選挙も行われ、武生地区本部長
として力不足の感否めないうち、皆様の御協力を得て、何とか
念願の武生地区における勝利を得ることができました。法うしほり
の下、御礼を申し上げることはできませんが、心をお汲み頂ければ
幸いです。又、本来でしたら新年早々にお届けすべき、このニュース
も選挙の為、忙殺されており遅れましたことをお詫び致します。
私も県議選より一年八ヶ月を過ぎ、その活動もローギアから
セカンド、サードギアへとシフトアップすべき時、たとも考えております
ので、今後共、何卒、御指導、御鞭撻の程、よろしくお願い申し
上げます。

平成二十五年一月一日

宮本 俊

<県政メモその7 ~平成24年度12月補正予算について~>

12月18日、福井県議会12月議会が開会、12月補正予算が可決いたしました。予算規模は総額で21億円で、これにより平成24年度の予算総額は4,878億円(対前年比4.3%減)となりました。国の経済危機対応・地域活性化予備費を活用し、子どもの安全確保を図る通学路の整備や大規模災害に備えた防災・減災対策事業など公共事業が主なものとなっています。

予算に直接関係はないのですが、前回の9月議会より予算を含む各議案について各会派がどのような判断(賛否又は継続審議)をしたかについて報告が県議会のホームページに掲載しています(<http://info.pref.fukui.jp/h24-12-sannpi.pdf>)。これは議会改革の一環として行われているものですが、各議員個人がどのように判断したかを公開するまでには至ってないようです。

単位：百万円、%

会計	24年度			23年度 12月現計②	増減 (①-②)③	伸び率 (③/②)
	既決予算	12月補正	12月現計①			
一般会計	485,690	2,098	487,788	509,717	△21,929	△4.3
特別会計	13,102		13,102	14,424	△1,322	△9.2
企業会計	30,364		30,364	28,921	1,433	5.0
計	529,156	2,098	531,254	553,062	△21,808	△3.9

<主な内容> (単位：千円)



○補助事業：2,004,083

	9月現計	12月補正	計	補正内容
県営漁港	683,435	252,000	935,435	早瀬漁港などの整備等
治山	1,755,641	268,100	2,023,741	治山施設(越前市)の整備等
道路	11,203,385	854,983	12,058,368	県道岡田深谷線の歩道整備等
河川	3,648,090	150,000	3,798,090	底喰川の河川改修等
砂防	2,628,050	148,000	2,776,050	岡本川堆積土砂撤去等
土地改良等	15,812,159	-	15,812,159	
その他	1,134,922	331,000	1,465,922	福井港の浚渫
合計	36,865,682	2,004,083	38,869,765	

越前市関連では「治山」の項目に大滝町の治山ダム1基約3,000万円、及び「砂防」の項目に同じく大滝町の土砂撤去約1億円が計上されています。

○国直轄事業負担金：73,800

	9月現計	12月補正	計	補正内容
土木部	5,538,654	73,800	5,612,454	福井港離岸堤の整備
農林水産部	2,161,666	-	2,161,666	
合計	7,700,320	73,800	7,774,120	

直轄事業とは国が地方において直接行う事業のことですが、国が行うからと言って100%の予算が国によって負担されるわけではなく地方においても通常1/3程度の負担が義務付けられています。県におけるこの負担金の予算化は国において先に補正予算が組まれ、それに伴い負担金が増加したこと意味着しています。この直轄事業負担金については色々と議論のあるテーマなので次回にでも詳しく解説したいと思います。

衆議院選総括

12月16日、第46回衆議院議員総選挙の投票が行われ同日夜にはその結果の大勢が判明いたしました。わが越前市は旧武生地区が3区、旧今立地区が2区と一つの市に二つの選挙区が混在する珍しい市なのですが、3区の武生地区の投票結果を中心に(旧今立地区の皆さんごめんなさい)自分なりの解説をしてみたいと思います。私自身が高木毅候補の選挙対策本部長であったため、若干手前みそな見解が、また、既に新聞などで報じられている議論と重複する点もあると思いますのでご容赦頂けたらと思っています。

< 振れ幅の大きさ >

今回の結果は自民、公明で325議席(68%)の議席獲得と驚異的な勝利を収めました。政権交代の強烈な風が吹き、民主党が大勝した2009年の前回総選挙と全く逆の結果となったわけです。これは一方向の風(ブーム)が吹いた場合には、当選者が一人だけの全国300の各小選挙区においてその風にマッチした候補者がほんの少しのリードでも次々と当選してくるといふ小選挙区制度にその原因があると言われていいます。確かにこのことは大きな理由ではあると思いますが、それ以前に風が起きやすい国民性というのもその背景にはあるのではないのでしょうか。言い換えるならばアメリカ等に比べ国民が自分の不変の政治的な信条を有していない。例えば、我が家は代々自民党を応援し、そうゆう教育を受けているとか、私は小さい政府による保守的な政治を志向するとか、そういうイデオロギーが個人の根底にないという政治的な未成熟さもあるのではないのでしょうか。

< 投票率 >

今回の全国の投票率は59.3%と前回2009年の総選挙と比べ約10ポイント下回り、戦後最低だったようです。ちなみにこれまでの最低は1996年の59.6%です。確かに選挙戦を戦っていても有権者の反応の弱さ、いつも比較的活発な動きを見せている業界団体なども今回は動きが低調だったことなどからその関心の薄さを感じていました。年齢別投票率というデータがないので憶測での見解ですが、高齢者の方が高く若年層は低いという結果(この傾向は常にあるのですが今回はその傾向がより強い)ではないかと思っています。つまり、自民党支持者の多い高齢有権者がまじめに投票に行ったことも自民党の大勝の一因だったということです。ちなみに武生地区の投票率データは以下の通り。


総有権者数	55,589	(男性:26,939	女性:28,650)
投票者数	33,875	(男性:16,806	女性:17,069)
投票率	60.94%	(男性:62.39%	女性:59.58%)



興味深いのは女性の投票率が男性のそれを約3ポイント下回っていること。家計をやりくりし生活者の視点があり強い女性の方が政治に対する無関心さの度合いが高いのでしょうか。「誰がやっても変わらない」「政治(家)は信頼できない」というご批判は政治家のはしくれとして非常に悲しいものであり反省して襟を正さなければとも感じますが、「その国の政治とテレビ番組のレベルは国民のレベルに等しい」とも言われます。ニワトリが先かタマゴが先なのでしょう。

< 結果 >

当初から「自民党有利」「高木リード」の声の中、選対を預かるものとして楽観ムードの払拭がもっとも大きなテーマの一つでした。選挙における楽観ムードの危険さを最も知っている者の一人であるとの自負もありましたもので... (笑)その対策の一つとして「3区全体としてどうであれ、革新が強く今まで勝てたことのない武生地区で勝たせてほしい」と訴え続けてきました。その甲斐があつてかなくとも結果は以下の通り。

	 高木 つよし	山本 まさひこ	塚本 崇	松宮 いさお
3区合計	77,543 57.9%	7,048 5.3%	20,972 15.7%	28,364 21.2%
武生地区	15,652 47.5%	1,746 5.3%	6,161 18.7%	9,393 28.5%



7月31日:国高地区の皆さんと越前市からオリンピックの中野選手を応援



8月11日:愛車の10万キロ走行を記念して1枚



8月31日:東京でのオリンピック報告会にて太田選手、中野選手と銀メダル



10月4日:自民党武生支部東京研修 靖国神社の前で



10月6日:体操協会メンバーの生徒さん達が日頃の練習の成果をご両親に披露



11月10日:しくら賞授賞式 受賞された生徒の方々おめでとうございます。



11月18日:王子保スポーツ少年団30周年記念式典 ゲストは元世界チャンプ清水氏と中野選手



12月3日:日本商工会議所青年部のイベントでプロレスの武藤選手登場